

プレスリリース
報道関係者各位

2024年6月11日
休暇村気仙沼大島

今年もカツオの水揚げが始まりました！生鮮カツオ水揚げ日本一の気仙沼港 7月13日（土）からは「第8回気仙沼かつお祭り」も開催 休暇村気仙沼大島では、気仙沼港に揚った新鮮カツオの刺身を一品料理で販売

宮城県の北東端、気仙沼市に位置するリゾートホテル「休暇村気仙沼大島」（所在地：宮城県気仙沼市外畑、支配人：高田 靖）では、生鮮カツオ水揚げ27年連続日本一の港町、気仙沼港に水揚げされたカツオのお刺身を一品料理で販売します。漁場である三陸沖に面する港町だからこそ味わえる新鮮なカツオはまさに気仙沼のソウルフィッシュです。7月13日（土）から8月11日（日）には「第8回 気仙沼かつお祭り」が開催され、協賛飲食店やホテル、観光市場ではカツオの特別料理などが振舞われます。



今季もカツオが水揚げされ、気仙沼の市場は活気づいています

◆気仙沼は27年連続生鮮カツオ水揚げ日本一

気仙沼は、生鮮カツオ水揚げ27年連続日本一の産地です。カツオは南の温かい海域で生まれ、春になると暖流である黒潮によって北上し、日本の太平洋側近くを通ります。気仙沼はちょうどカツオの回遊する良好な漁場が沖にあることから、新鮮な状態で水揚げできる絶好の場所に位置しています。三陸沖で回遊するカツオの漁場が気仙沼漁港から近くなる最盛期になると、多くの水揚げ船が気仙沼漁港に寄港します。



気仙沼港は、「かつおの町」として毎年6月から9月に旬を迎え賑わいます。三陸沖で回遊するカツオの漁場が気仙沼漁港から近くなる最盛期には、多くの水揚げ船が気仙沼漁港に寄港します

◆休暇村気仙沼大島 一品料理「カツオの刺身」

「目には青葉 山ほととぎす 初鯨」と詠まれているように、初カツオはなんとしても食べなくては！と思わせる旬の食材です。休暇村では、気仙沼で水揚げされたカツオを一品料理の「刺身」でご提供します。初カツオの身質は赤々とした赤身が特徴で、身が引き締まっていてさっぱりとした味わいで、三陸ではタタキよりお刺身がよく食されます。

気仙沼カツオの刺身 一人前 1,000円(税込)
※漁の状況によっては販売できない日もあります



新鮮だからこそ味わえる「刺身」は、赤身を味わっていただきたく厚めに切って提供します

《休暇村気仙沼大島「気仙沼海鮮浜焼き会席」宿泊プラン》

テーブルに設置された「無煙ロースター」で浜焼きをお楽しみいただける会席コースです。帆立やメカジキなど、新鮮な海の幸を浜焼きでお召し上がりいただけます。御飯、汁物、サラダ、デザートはビュッフェにてご用意します。

期 間：通年

料 金：平日2名1室利用 1泊2食付き

大人1名 15,500円(税込)~



無煙ロースターで焼きながら食べる「浜焼き」をお楽しみください

◆第8回 気仙沼かつお祭り 2024

生鮮カツオの水揚げ 27年連続日本一を誇る“かつおのまち”気仙沼では、「海の日」を「気仙沼かつおの日」と制定。気仙沼のかつおの美味しさを伝えるため、7月13日から気仙沼海の市や気仙沼お魚いちばなどで「気仙沼かつお祭り」を開催します。カツオが1本丸ごと当たるキャンペーンや、握りずしのお振る舞い、お祭りの特別メニューの提供など、楽しめるイベントが用意されています。

期 日：2024年7月13日(土)～8月11日(日)

会 場：気仙沼「海の市」他

詳 細：<https://kesenuma-kanko.jp/katsuofes2024/>



7月21日(日)には、カツオの薫焼きのお振る舞いや、カツオの一本釣り体験等お子様も楽しめるイベントをご用意しています
※写真はイメージです

◆休暇村気仙沼大島

2019年に気仙沼大島大橋が、2021年には気仙沼湾横断橋が開通し、よりアクセスが便利になった東北最大の有人島、気仙沼大島に立つリゾートホテルです。2020年にリニューアルオープンし、無煙ロースター付のテーブルで「浜焼き」が食べられるレストランや、暖炉を囲む中庭、のんびりお茶を飲みながら過ごすブックラウンジ、プレミアム和洋室にバルコニー付和洋室も誕生しました。サイクリングやマリンスポーツなどアクティビティも充実しています。



2020年4月にリニューアル

所在地：〒988-0603 宮城県気仙沼市外畑 1 6

支配人：高田 靖

URL：<https://www.qkamura.or.jp/kesen/>

自然にときめくリゾート 休暇村

◆自然にときめくリゾート 休暇村

日本の景色を代表する国立公園・国定公園など優れた自然環境の中にあるリゾートホテル。35か所ある休暇村は、「自然にときめくリゾート」のコンセプトのもと、地元の食材を活かした料理や、地域の自然、文化、歴史とのふれあいプログラムなど、その土地ならではの魅力にふれる場を提供し、すべてのお客様に心が自然にときめくひとときをお届けします。

休暇村
自然にときめくリゾート

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

休暇村気仙沼大島 担当：松田 一毅

TEL：0226-28-2626 FAX：0226-28-2627

E-mail：kouho_pr@qkamura.or.jp